

北九州貨物鉄道施設保有株式会社

北九州貨物鉄道施設保有株式会社

I 法人の概要（平成 25 年 4 月 1 日現在）

- 1 所在地
北九州市門司区大里新町 11 番 1 号
- 2 設立年月日
平成 11 年 4 月 26 日
- 3 代表者
代表取締役 池田 清弘
- 4 資本金
400,000 千円
- 5 北九州市の出資金
196,000 千円（出資の割合 49.0%）
- 6 役職員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	7 人	2 人	0 人	5 人
常 勤	2 人	0 人	0 人	2 人
非常勤	5 人	2 人	0 人	3 人
社 員	1 人	0 人	0 人	1 人

II 平成 24 年度事業実績

平成 11 年度から国の幹線鉄道等活性化事業費補助並びに北九州市の門司鉄道コンテナターミナル整備支援事業費補助を受け着手した、門司貨物拠点整備事業の設備が平成 14 年 3 月に完成し、また平成 19 年度から国の幹線鉄道等活性化事業費補助を受け着手した、鹿児島線（北九州・福岡間）鉄道貨物輸送力増強事業の設備が平成 23 年 3 月末に完成した。

両事業の長期借入金を計画的に返済している中、平成 24 年 5 月末に、門司貨物拠点整備事業で借入れた、みずほコーポレート銀行の長期借入金が満期を迎えたことから 1,040 百万円の借り換えを行った。

施設の維持管理については、北九州貨物ターミナル駅において、2 号、4 号踏切の接続軌道の修繕及び進路表示器、信号制御版の CRT の一部取替を、JR 貨物施工で行った。

当社は、鉄道施設を日本貨物鉄道株式会社に賃貸することで成り立っているため、今後とも日本貨物鉄道株式会社と連携を図り、鉄道施設の維持・管理に努めていく。

当事業年度の施設使用料は、日本貨物鉄道株式会社との「鉄道施設等の使用に関する契約」に基づき、351 百万円となり、長期借入金返済については、みずほコーポレート銀行へ 45 百万円及び日本政策投資銀行へ 124 百万円の返済を行った。

販売費及び一般管理費は 257 百万円となっている。

以上のような状況のもと、経営利益は 4,393 千円となった。

Ⅲ 平成24年度決算

1 貸借対照表(総括表)

平成25年3月31日現在 (単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	(171,841)	流動負債	(209,572)
現金・預金	170,320	1年以内返済長期借入金	196,400
繰延税金資産	1,520	未払費用	340
		未払利息	7,444
		未払法人税等	772
		未払消費税等	4,261
		預り金	352
固定資産	(3,906,889)	固定負債	(3,479,952)
有形固定資産	(2,734,236)	長期借入金	3,476,300
建物及び設備	359,594	長期未払金	937
構築物	3,615,250	役員退職慰労引当金	2,715
機械・装置	46,245		
工具器具備品	575	負債の部合計	3,689,525
土地	10,503	(純資産の部)	
リース資産	1,036	株主資本	(389,205)
減価償却累計額	▲1,298,968	資本金	400,000
無形固定資産	(1,172,652)	利益剰余金	▲10,794
ソフトウェア	2,893	その他利益剰余金	▲10,794
電話加入権	72	繰越利益剰余金	▲10,794
通行施設利用権	1,169,687		
投資等	(0)	評価・換算差額等	(0)
		純資産の部合計	389,205
資産の部合計	4,078,730	負債・純資産の部合計	4,078,730

※金額は千円未満切り捨て

2 損益計算書（総括表）

自 平成24年 4月 1日

至 平成25年 3月31日（単位：千円）

科 目	金 額	
経常損益の部		
（営業損益の部）		
施設貸付料	351,428	351,428
販売費及び一般管理費	256,911	256,911
営業利益		94,516
（営業外損益の部）		
受取利息	43	
雑収入		43
支払利息	90,167	90,167
経常利益		4,393
特別損益の部		
特別利益		0
特別損失	818	818
税引前当期純利益		3,574
法人税等	2,115	
法人税等調整額	▲1,224	891
当期純利益		2,682

※金額は千円未満切り捨て

IV 平成25年度事業計画

当社の主たる事業は、国、並びに北九州市の補助金を受けて構築した設備を日本貨物鉄道株式会社に賃貸することであり、財産の保守、維持管理が重要となっている。

そのため、日本貨物鉄道株式会社と締結した「鉄道施設の使用及び保守に関する協定」及び「補助金で取得した財産の改良に関する覚書」に則り、定期的に使用実態の確認を行い、財産管理の徹底と、適正な保守及び維持管理に努めているとともに、健全な会社運営を維持するために効率的な資金計画や今後の借入金の借換え計画を策定し、日本貨物鉄道株式会社と打ち合わせながら、着実な長期借入金の返済を行う。

また、厳しい経済環境でも、地球環境にやさしい鉄道貨物輸送に対する期待がますます高まって

いる。今後、この様な状況に応えるため、日本貨物鉄道株式会社と北九州市との連携を深め鉄道貨物輸送の拡大と地域の発展に寄与する。

V 平成 25 年度予算

1 予定損益計算書

自 平成25年 4月 1日

至 平成26年 3月31日 (単位：千円)

科 目	金 額	
経 常 損 益 の 部		
(営 業 損 益 の 部)		
施 設 貸 付 料	371,266	371,266
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	278,162	278,162
営 業 利 益		93,104
(営 業 外 損 益 の 部)		
受 取 利 息	50	
雑 収 入		50
支 払 利 息	85,604	85,604
経 常 利 益		7,550
特 別 損 益 の 部		
特 別 利 益		
特 別 損 失		
税 引 前 当 期 純 利 益		7,550
法 人 税 等		4,530
法 人 税 等 調 整 額		40
当 期 純 利 益		2,980

※金額は千円未満切り捨て

VI 役員名簿等

1 役員名簿

平成 25 年 7 月 1 日現在

役職名	氏名	備考
代表取締役社長	遠藤雅彦	日本貨物鉄道(株)九州支社長
専務取締役	日笠山誠	常勤取締役
取締役	権藤宗高	北九州市港湾空港局営業・空港担当理事
〃	江副春之	北九州市総務企画局企画担当理事
〃	畑尾利男	常勤取締役
監査役	小谷浩史	(株)みずほ銀行 営業第十五部長
〃	花岡俊樹	日本貨物鉄道(株)総合企画本部投資計画室長